第19回本公演 マグカルシアター参加

河のはじまりを探す旅 4

劇団820製作所

冬物語

The Winter's Tale

作 ウィリアム・シェイクスピア

上演台本・演出 波田野淳紘

2026年12月17日（木）～20日（日）

5ステージ＋プレビュー1ステージ

神奈川県立青少年センター・スタジオHIKARI



坊や、おいで。
お話をしましょう。

劇団８２０製作所　河のはじまりを探す旅４
第１９回本公演｜マグカルシアター参加

冬物語

The Winter's Tale

作 ウィリアム・シェイクスピア　上演台本・演出 波田野淳紘

古典作品・近現代の戯曲を上演し、演劇の源流をたどる「河のはじまりを探す旅」シリーズ。この度は、世界最大の文学者とも称せられるウィリアム・シェイクスピアの『冬物語』（一六一一？）を取りあげます。

シチリアの王レオンティーズが突然の嫉妬に駆られ、王妃ハーマイオニの愛を疑う。王命により、王妃は牢につながれ、生まれたばかりのこどもは異国の荒野に捨て置かれる。あらゆる取り返しのつかない出来事のあと、王は正気を取り戻し、身の裂かれるような悲嘆を背負って立ちつくす。そうして、十六年の時が流れ――。

シェイクスピアが単独で書いた戯曲としては、最後から二番目の作に位置づけられる今作。おとぎ話のような語り口を持ち、悲劇でもあり喜劇でもあり、その衝突が神話的な高みへと飛翔する劇です。劇中のさまざまな「荒唐無稽」が眼前で炸裂したとき、わたしたちの心は激しく揺さぶられます。

レオンティーズの嫉妬／不信からはじまるこの劇が、奇跡を信じることの促しによって幕をおろすのは象徴的です。いかなる時であれ、やがて氷が解けることをわたしたちは信じることができるのです。

2026.12.17 THU — 20 SUN
5ステージ＋プレビュー1ステージ

12.17 (木) — 19:00 ［プレビュー］
12.18 (金) — 19:00
12.19 (土) — 14:00 | 18:00
12.20 (日) — 13:00 | 17:00

※受付開始は開演時間の45分前、開場は30分前です。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※開演時間を過ぎますと入場をお待ちいただく場合がございます。

おの まさし　江花 実里（架空畳）　大谷 由梨佳（オフィス MORIMOTO）　加藤 好昭　亀尾 建史
コヤマ アキヒロ　小山 利英　馬場 玲乃　日暮 玩具（tsumazuki no ishi）

梶原 裕海　圷 保菜美　柴野 梓実（以上、いかだ演劇部）

特設サイト

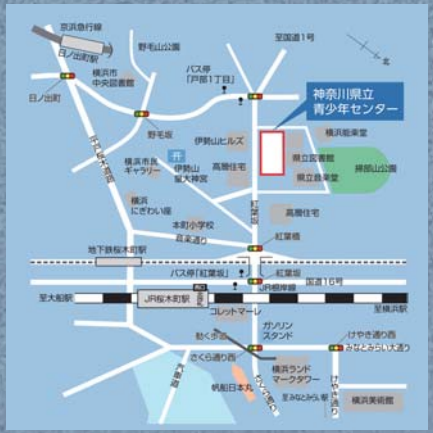
上演台本・演出｜波田野 淳紘　舞台監督｜にしわき まさと　照明｜小木曽 千倉　音響｜齋藤 瑠美子　音楽｜itsuki
宣伝美術｜森 陽平　広報映像制作｜こんの かつゆき（劇団コピュラ）　制作｜薄田 菜々子　WEB｜亀尾 建史
Members｜波田野 淳紘、加藤 好昭、千葉 恵佑、亀尾 建史、御法川 わちこ、朝廣 亮二、小山 利英、馬場 玲乃
協力｜急な坂スタジオ　一般社団法人 神奈川県演劇連盟　マノンラヴァンド　- 森ノ音 -　Halo G　劇団コピュラ
企画・製作｜劇団820製作所　主催｜神奈川県　劇団820製作所

Ticket

一般	3,900円	18歳以下	1,000円
25歳以下	3,000円	プレビュー［12月17日のみ］	2,900円

日時指定・全席自由｜2026年11月9日（月）10:00 より発売開始
※「25歳以下」および「18歳以下」券をご利用の方は、受付に確認できるものをお持ちください。
※受付でのお支払いは現金のみの取り扱いです。

取扱い・お問い合わせ
①CoRich チケット！からの購入
右記コードよりお申込みください。
②劇団820製作所からの購入
［WEB］http://820-haniwa.com/
（予約フォームあり）
［MAIL］ticket.820seisakusyo@gmail.com
メールでのご予約の際は、件名を「チケット予約」とし、【1】氏名【2】日時【3】券種・枚数【4】ご連絡先（メールアドレス、電話番号）をご明記ください。



神奈川県立青少年センター
スタジオ HIKARI

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ケ丘9-1 2F

JR 根岸線「桜木町駅」北改札西口から徒歩約8分
横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から徒歩約10分
京浜急行線「日ノ出町駅」から徒歩約13分
みなとみらい線「みなとみらい駅」
ランドマーク・クイーンズスクエア方面改札から徒歩約20分

有料駐車場がございますが、駐車台数に限りがございます。
ご来館の際はできるだけ公共の交通機関をご利用ください。

劇団820製作所

2004年に旗揚げ。読み方は「はにわせいさくしょ」。東京圏を活動の拠点として、演劇の公演を重ねる。キャッチフレーズは「本当はそこにあるおとぎ話」。社会的事象から個人のひそやかな祈りまで、目に見えない場所に生起する感情や物語を丁寧にすくいあげる。

劇団820製作所

神奈川文化プログラム MAGCUL マグカル かながわ県民文化祭